

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	主 査 名：渡壁守正 就任年月：2006 年 4 月 委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2006 年 4 月 ～ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：SHM の現状調査と認知度を高めるための方策について議論 ・ 2 年度：SHM の定義・目的と効果・現状に関する啓蒙資料作成 ・ 3 年度：関係各位の意見をフィードバックするための大会研究集会を開催 ・ 4 年度：SHM を推進するためのモニタリング技術について整理検討 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 主査：渡壁守正 (戸田建設) 幹事：中村充 (大林組)・吉元怜毅 (三菱総合研究所) 委員：三田彰 (慶應義塾大学)・岡田成幸 (名古屋工業大学)・薛松濤 (近畿大学)・佐藤貢一 (大成建設)・西村功 (東京都市大学)・平田京子 (日本女子大学)・森田高市 (建築研究所)・風間宏樹 (日建設計)・久家英夫 (竹中工務店)・酒向裕司 (鹿島建設)・斎藤知生 (清水建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2009 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>昨年度の研究集会「構造ヘルスマニタリングがつくる安全・安心な建築空間」においての研究者・技術者からの意見を踏まえて、SHM を実態をともなった技術へ展開するため、関連分野間で、SHM の導入効果や普及に向け幅広い視点からの議論を行った。また、小委員会では「多世代利用総プロ」に取り組んでいる国総研の研究幹事の方をお招きし、住宅の長期利用を支える管理技術としての SHM 利活用のあり方について討議を行った。今後も本小委員会と適宜連携していくことについて確認し、次期委員会活動へ向けて有意義な検討を行うことができた。</p>
委員会活動の問題点 ・ 課題	特になし